



発行所
香川短期大学同窓会
オリブ会
(0877)49-5500

責任者
会長 中川 榮子

印刷所
四国システム印刷株
(0877)49-0142

コロナ禍における 学生の学修機会の確保と 感染症対策の両立に取り組む

学生支援部 次長 丹下 智博

本会報が発行される10月には東京オリンピック・パラリンピックが無事に閉幕し、新型コロナウイルス感染症も収束していることを願いながら執筆しています。同窓生の皆さまにおかれましては、コロナ禍の中、不慣れた生活を余儀なくされ、健康面だけでなく様々な不安を抱えて毎日過ごされているかと存じます。執筆時点(令和3年6月)では、香川県は爆発的に感染者が増加し、県は5月11日に県独自の警戒レベルを最高の「緊急事態対策期」に引き上げました。本学が所在する宇多津町をはじめ近隣市町においても感染者が多数発生し、特に10・20代の感染例も増加していることから、学内でも緊張が続いていました。現在は感染者の数は一桁台に落ちついていますが、予断を許さない状況です。

コロナ禍は社会や私たちの生活を大きく変えました。私たちを取り巻く環境は日々めまぐるしく変化し、当たり前だったことが通用しませんが、過去の経験が生かせる場面が少ない今、新しいことへの挑戦が必要になります。そんな予測困難な時代を生きていく学生の挑戦を応援す

講する等の対応を行いまし
た。

今年度は原則対面授業を開始しましたが、前で触れたとおりゴールデンウィーク(以下、GW)前から本県で感染者が爆発的に急増していること、GW中に人の移動が活発化するであろうことを鑑みて、GW明けの5月6日から16日までは全学的に登校を禁止し、自宅学習期間(遠隔授業)としました。17日は原則対面授業を再開しましたが、岡山県に緊急事態宣言が発令されたことに伴い、岡山県から通学する学

生には自宅学習期間を延長する措置をとりました。また、感染拡大防止を図るため、欠席に関する特別措置を設け、「感染の疑いがある」「判断に迷う場合にも公認欠席と同様の扱い」とし、体調不良等の場合に欠席しやすい環境づくりにより、ウイルスを学内に持ち込まないような対策も行っていきます。もちろん、欠席した学生への学修上の配慮も十分にを行い、欠席したことと不利益にならないようにしています。

免許・資格取得を目的とした学科が多く、演習・実験・実習の授業がどうしても中心となる本学の特性から、学生が安心して安全に、対面での実践的な学修ができる環境づくりと、教職員が教育・研究活動に専念できるよう、

免許・資格取得を目的とした学科が多く、演習・実験・実習の授業がどうしても中心となる本学の特性から、学生が安心して安全に、対面での実践的な学修ができる環境づくりと、教職員が教育・研究活動に専念できるよう、

現在では後述の主な感染症対策を行つたうえで原則対面での授業を行っています。9月現在、12日が期限となつていた香川県のまん延防止等重点措置は30日まで延長されました。今後、さらに新規感染者が増加した場合には再度の登校禁止措置を取ることも予想されます。そうした際の自宅学習を支援するため、キーボードを備え付けた学生貸与用のiPadの整備及び遠隔・分散授業のための配受信機材の整備を行います。

また、本学ではこのたび、ワクチン接種に関する自治体の負担を軽減し接種の加速化を図るため、学校法人尽誠学園香川看護専門学校、学校法人大塚学園四国医療専門学校、県立農業大学校の3校が合同で実施する職域接種に参加させて頂いたこと、希望した本学の学生や教職員(非常勤講師含む)の接種を無事終了することができました。

第5回 食育活動表彰 『消費・安全局長賞』 を受賞して

食育ゼミ 食物栄養専攻教授 垣 洵直子

食物栄養専攻の食育ゼミは農林水産省が主催する「第5回食育活動表彰」にて、『消費・安全局長賞』を受賞しました。本来は、岩手県で6月26日(土)に開催された第16回食育推進全国大会inいわて(「若手県産業文化センター」Aピオの開会式にて表彰)にだけ予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえ、オンラインでの開催となりました。

食育ゼミは平成23年度より、公益財団法人明治百年記念香川県青少年基金を活用した「学生による企画提案活動支援事業」を中心とし、幼児・小学生を対象とする食育実践活動を10年以上継続して実施してきました。この事業では学生たちが主体となり、県内唯一の栄養士養成施設として、本学の独自性が認められる「調理実習」を題材として取り組むことで、大

たに加わり、昨年度からの「レスパズ子ども食堂」での活動は、献立作成、買い出し、調理、食育指導など多くの活動を通して、学生自身も子どもたちとともに成長することができていると思います。

最後になりましたが、このような栄誉ある賞をいただくことに對しては、学長先生をはじめ、多くの先生方や地域の方のご協力があったこととこの場を借りてお礼申し上げます。また、今までの食育活動に携わって来られた卒業生の皆様に対し、これまでの活躍と功勞に感謝申し上げます。今後このような地域に根差した食育活動の後輩たちと継続していくことで、これからもより良い活動となるように努めてまいりたいと思います。

感染予防- 拡大防止の取組	学内設備
<ul style="list-style-type: none"> □ 学舎内において原則マスク着用を徹底。 □ 廊下および全教室の窓を開けて換気を徹底。 □ 学生及び教職員の毎日の検温、健康チェックシートの作成。 □ 発熱や風邪症状がある場合の欠席の特別措置(公認欠席扱い) 	<ul style="list-style-type: none"> □ 非接触体温検知システムを設置し、常時検温を実施。 □ エレベータ乗車人数の制限(4人まで)。 □ 全教室及び施設の入口にアルコール消毒液を設置。 □ 学生食堂やラウンジにアルコール消毒液、事務窓口などに飛沫による感染を防止するためのパナシオンを設置。 □ パブリックスペースに抗ウイルス・抗菌・UV-Cを施工。 □ 分散授業の推進。



デジタルサイネージで注意喚起



非接触体温検知システム(手首検温)



じしる子ども食堂の活動



幼稚園での食育活動



(公財)明治百年記念 香川県青少年基金「学生による企画提案活動支援事業」

ご案内・お知らせ

★令和4年度管理栄養士国家試験受験対策講座開催

日時:令和4年4月10日(日)より、8、9、3月を除く毎月第2日曜日9:30~12:30
場所:本学食物栄養実践給食実習室
講師:本学食物栄養専攻教員
対象:本学の卒業生及び在学生

★令和3年度管理栄養士国家試験受験対策講座開催

令和3年度の後期の講座(開講日:11/14、12/12、1/9、2/6)が始まります。
また、第35回管理栄養士国家試験では1名の卒業生が合格しました。おめでとうございます。

★「介護研究講座」について

日時:令和4年3月3日(木)13:00~13:45
場所:本学2階講義室
内容:生活介護福祉専攻2年生 介護研究発表

★子ども学科行事「子ども劇場」について

「地域に根ざした短大」との考えに基づき、子ども学科第I部・子ども学科第III部では高松、坂出、宇多津、丸亀、多度津まで子どもたちを毎年招待し、教員、学生全員で各ゼミの特性を活かした発表を行い、楽しく交流を図っています。

★子ども学科保育士支援制度について

子ども学科では保育士として就職する方を支援する保育士修学支援制度があります。この制度は入学後に申請する制度で保育士として就職する学生に貸付する制度です。

評議会

- 令和3年度評議会
於 短大2階会議室 4月17日(土)
1.令和2年度会計報告
2.令和2年度会計監査報告
3.令和3年度行事予定
4.令和3年度予算案作成
5.オリオン会報について
6.新役員紹介

学内ニュース

- 令和2年度退職された教職員(敬称略)
福家 浩二 有家 恵美子 竹安 宏匡 上原 哲
黒木 ひとみ 高田 美貴世 大石 真弥
令和3年度名誉教授の称号授与
竹安 宏匡
令和3年度採用された教職員
勘原 利幸
牧野 義雄
坂本 毅

経営報告

Table with financial data for '令和2年度決算報告' and '令和3年度予算' including income and expense items.

同窓生のまど

高木 正人
「美空ひばり交響楽団コンサート」

幼少期より芸術の道を目指し、美術教師に憧れ芸大を目指していましたが縁あって香川短期大学へ進みデザインという世界に出会いました。当時は「この道で本当に良いのか悩み高藤さんという先生に出会いますが、今思えばその選択が私の人生の扉を開きかけたことになりました。」

言葉があります。いま急速に世の中の転換が進んでいます。これまで常識は通用せず、複雑で多様化した時代を迎えている中で、ますます芸術や文化、教育が基礎としてより重要になっていくのではないかと、高木さんには何となく不安な思いがしていました。また、2018年より母校である当校の経営情報科デザイン・アートコースの非常勤講師として戻ってきたことも大きな出来事でした。教壇から眺めれば学生の頃のままで、当時の思い出を振り返りながら授業を担うことになりました。私自身が職業講師として伝えられることとは何か、日々模索しながら私自身も勉強をさせていただけたいという考えです。学生時代に描いた芸術や教師への夢が遠回りをしながらついに繋がってゆくと信じています。

料理のよろこび
石塚 亜由美
私は、平成12年に生活文化学科食物栄養専攻を卒業しました。子どもの頃、母の実家は鮮魚屋の出店を営んでおり、祖父が魚を次々と捌き料理をする姿をよく見ていました。店先にはたくさんのお魚のよれ魚が並び、お客さんの要望に応じて手際よく魚を捌く祖父の姿に憧れていました。幼い私が手伝っていたのは、買ったお魚を手伝った袋を手渡すことくらいでしたが、お客さんに「ありがと」と言ってもらえることが嬉しかった。店の手伝いが大好きだったことを今でも鮮明に覚えています。小学校高学年の頃には仕出しの手伝いも出来るようになり、料理にも興味を持ち将来は自分も「良い間」の仕事をしたいと思うようになりました。

大学祭中止のお知らせ

令和3年度の香川短期大学祭は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

卒業生にオリブ賞(同窓会会長賞)授与

令和2年度は、経営情報科デザイン・アートコースの小林千紘さんに授与いたしました。小林さんは、勇心酒造株式会社とのPR動画制作プロジェクトや総務省「四国コンテンツ映像フェスタ2020」で最優秀賞を受賞されました。

編集後記
同窓生の皆様いかがお過ごしでしょうか。この度、オリオン会報第53号をお届けいたします。編集部では、今後を目標と共々新しい紙面づくりを心がけたいと思っております。ご意見、ご感想がございましたら、編集部長にお寄せください。併せて今年の同窓生のまどの記事も募集いたします。

高校の食物科で調理師免許を取得し、更に栄養士の資格取得を目指し、香川短期大学へ進学しました。卒業後は、ケータリング事業や飲食店事業を行っている県外の企業に栄養士として就職しました。が、今から19年前、高校時代の恩師に声を掛けていただき母校である観音寺中央高校(現・観音寺総合高校)で家庭科の実習助手として勤めることになりました。観音寺総合高校(現在は食物科ではなく総合学科食物科)は調理師養成施設で、県内の公立高校では唯一、調理師免許を取得できます。

